

せたがや 町総連だより

第 60 号

発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林 4-31-9 ポライト第2ビル202
☎・FAX 03-5481-3456
発行人 副会長 上田 啓子
編集 情報誌編集委員会
編集委員長 堀江 義之

新しい年を迎えて

世田谷区町会総連合会 副会長 上田 啓子



世田谷区町会総連合会会員の皆様、新年となりましたが今年もよろしくお願いたします。また、総連合会の事業につきましては、日頃より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は悲しいことに、いくつかの訃報がございました。中でも当総連合会の会長として長きに渡りご尽力いただいた三羽和彦会長のご逝去には大変心を痛めました。

大事な仲間である会員を亡くするのはとても残念なことですが、その一方で多くの会員の皆さんと新年を迎えられたことを嬉しく思います。

さて、昨年の上旬には能登半島を中心とした大きな地震が、また9月には「奥能登豪雨」が発生し、大きな被害をもたらしております。

これまで何度も言われてきたことではありますが、災害時には住民同士の助け合いが不可欠です。また、このところ多発する住宅街での強盗に対しても、住民同士の繋がりが大切な抑止力を持つのではないかと考えております。

年頭において、今一度、町ぐるみで防災・防犯について考え、安心・安全な町づくりを構築していく機会にしたいと思っております。

今年も当総連合会は、会員相互で助け合い、「知りあい・ふれあい・支えあい」の理念のもとに、さらに住みよい世田谷を目指してまいります。

結びにこの一年の皆様のご健康と日々の平和をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年挨拶

世田谷区長 保坂 展人



旧年中は区政の推進にあたり、多大なるご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。

町会・自治会の皆様におかれましては、地域交流、防災、交通安全、環境美化などの様々な取り組みで地域を支え続けていただき、厚く御礼申し上げます。まちづくりの中心的な役割を果たす皆様の活動は、欠かすことのできない世田谷区の地域コミュニティの基盤です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、町会総連合会会長である三羽和彦様の訃報がありました。住民自治の発展に献身的に尽くされ、また各分野において数々の要職を務められ多大なる功績を遺されたことに敬意を表し、顕彰をいたしました。長年にわたるご尽力に対し深く感謝申し上げますとともに、哀悼の意を捧げます。

さて、昨年1月1日は能登半島地震が起き、多くの方が亡くなり被災をされました。区では、皆様のご協力のもと「令和6年能登半島地震災害支援金」を呼びかけたくさんのご協力をいただきました。また、昨年8月上旬に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表され、8月末には世田谷区でも積算雨量270mmを超える大雨となり、土砂災害の警報発令に伴い「避難指示」を発令するなど、自然

災害のリスクを日々、感じるようになりました。

9月半ばには、能登半島を襲った記録的豪雨で二度の災害に見舞われた被災地に、10月及び12月に街頭募金を実施し、改めて能登半島地震災害支援金の協力の呼びかけを行いました。また、先遣隊の現地訪問により把握した支援ニーズに応じて、珠洲市に税務事務を支援するために職員2名を派遣したほか、輪島市には物資の支援を行いました。区として、被災地の一刻も早い復興に少しでも寄与できるよう引き続き支援をしております。

全国では、戸建ての住宅を狙った強盗事件が多発しています。防犯・防災への備えをより確実なものとするには、日頃から顔と顔が見える関係性が重要です。

時代の変化に柔軟に対応し、あらゆる世代が安心して住み続けることのできる世田谷をともにつくるため、組織の枠を横断しながら、より一層の地域コミュニティ支援に努めてまいります。

結びに、世田谷区町会総連合会の益々のご発展と、会員の皆様にとりまして健康で幸多き一年になりますことを心からお祈り申し上げまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

地域情報

世田谷地域

小学校つながりの街づくり

経堂北町会 副会長 澤田昌宏

■経堂北町会紹介

経堂北町会は、経堂2丁目、3丁目の住民（居住人口6,700人、4,000世帯、町会加入率25%、2024年10月現在）で構成されます。小田急線経堂駅北側のすずらん通り商店街、経堂西通り商店街に挟まれた約0.3平方キロメートルの商工業住宅混在地域です。この地域のほぼ真ん中の高台に、唯一の区施設である経堂地区会館があります。防火水槽も設置されている水害、地震、火事の防災拠点です。

この地域は経堂小学校、緑丘中学校の学区に属します。児童や生徒の数はやや増加の傾向と伝えられています。役員は高齢化していますが、地区班長さん（この先、役員になる）を持ち回りにすることで、役員の平均年齢は他の町会より少し低めかもしれません。（そうありたいところです。）

■環境保護活動

町会員から、古着、古布を環境にやさしく、有効に処分したいという希望が多くあり、世田谷区役所の勧めている資源ごみ（布、紙、缶、段ボール）の集団回収事業に参加することにしました。町会で30か所の集荷所を設定し、株式会社スリーアールへ収集業務を委託しました。集荷所は町会員宅前にしていますが、会員以外の方もここに資源ごみを置くことでこの活動に参加できます。

資源ごみの回収の実績（種類別の重量）は、委託先業者が直接区役所へ報告しています。町会としては集荷所の巡視や整理整頓、取り残しの始末などの負担がありますが、区からは回収量に応じた報奨金（6円/kg）が、町会口座へ振り込まれます。

ちなみに2023年度は、資源ごみを約34トン収集し、報奨金約24万円が支払われ、町会の活動にあてています。

これからもこの活動への参加を居住者に呼びかけて、資源ごみの回収量を増やしていきます。

■防災活動

関東大震災から100年を過ぎ、防災への関心が高まり、市民の助け合いが期待されています。

10月の第一日曜日に、避難所となる小学校で避難所運営訓練を行いました。当日は近隣の町会員と小学校の保護者のうち、関心をお持ちの方が数名集まりました。

昨年度は参加者全員が10時に集合して、地域振興課からの説明を聞き見学という形式でしたが、今年の特徴は、市民の役割を分担しておき、9時から係の手順どおりに訓練を行いました。そして、10時からその他の見学者を交え、避難者役を演じていただいて受付の練習をしました。その後、水栓やトイレ、電話、体育

館といった施設を案内しました。

このようなことをやってみることで、いくぶんかは、先の期待に応える方向性は出せたと評価しています。

これを実現できた要因は、会場とした小学校と話せる方、この小学校で育ちその周囲で生活している市民の方がいることです。

そんなわけで、小学校が「6歳から12歳までの教育機関」だけではなく、実質的に街づくりの中心となっていることを地域振興課にも認識いただき、「教育と街づくりの複合施設」として強化してくださることを期待しております。



避難所トイレ組立訓練



避難所受付訓練

北沢地域

活力ある活動を目指す町会

大原北町会 第8代会長 遠藤 幸一

大原北町会は東西南北を鎌倉街道、環七、井の頭街道、玉川緑道公園で囲まれた世田谷区の北東の端に位置する町会で、新宿・下北沢へは数分で出向くことが可能な地域です。

町会は平成11年6月に第6代松島会長のご努力により、地方自治法による世田谷区13番目の法人（地縁による団体）として許可を受け、以後着実な歩みを続けています。また平成16年には戦後三宿より移設した旧町会会館を世田谷区の支援により新築し、現在は町会活動の基点となっております。

町会は顧問2名、役員19名と監査2名で構成され、毎月第2月曜日（9月と1月はお祭り、新年会で無し）に役員会を町会会館にて開催し活動を推進しています。

活動の詳細ですが4月の総会からスタートし、町会独自の事業として防災訓練、夏休みラジオ体操会、納涼盆踊大会、夏のお楽しみ会、大原稲荷神社祭礼、町会バス旅行、歳末町内巡回夜警、役員新年会、入学・進級おめでとう餅つき会等が順次月毎に実施され、また大原北町会が参加している新代田地区町会連合会の事業としての地区防災訓練、ごみゼロデー、古着の回収、地区まちぐるみ運動会（実施は世田谷区で唯一）、地域支えあい募金、せたがや梅まつり支援等が事業として加わり大変忙しい？町会です。

その他主要道路に面していることから、隣接3町会との避難所運営協議会を年6回開催しています。

令和6年の大原稲荷神社の例大祭では、当町会が祭礼当番町会として、宮神輿等の巡行のお世話をしました。しかし最大イベントである納涼盆踊会が、役員の

コロナ感染で中止となり、満を持しての夏のお楽しみ会も台風の影響で、会館での開催となり若干気落ちした結果となりました。

但し、10月6日に行われた新代田地区まちぐるみ運動会には保坂区長のご出席もあり、曇り空の下で大変盛大に開催され、多くの町会員が参加し親睦を深めました。

さて町会運営ですが、世田谷区からの助成、祭礼等の特別会計金を除く、町会費（世帯数約1,350）での運営となります。

近年、コロナ禍以降各町会において最大の関心事となると思いますが、町会費の収入減が活動を圧迫してきています。世帯数の増加は見られますが、町会への入会が徐々に下がっています。加入世帯の割合は現在60%を保っていますが、新たに引っ越して来られた方々には町会事業、HPアドレス等を紹介して入会促進も行っていますが結果は芳しくありません。

町会活動は近年若いお母さん方が婦人部の活動に参加し、活動が活発になってきています。反面、男性諸氏の動きが徐々に遅くなってきたことが懸念事項で、若い方々からの支援が非常に望まれるこの頃です。

会員の見守りとして、女性のための「あじさい会」、男性のための「あさがお会」、介護関連の皆さまを対象に「大原カフェ」等を月1回開催して会員仲間との連絡をとり、同様に「キッズステーション」「おはなしカラフル」等で若いおかあさん、子どもさんとの絆を育てる手助けを行っています。高齢化、人員不足、また若者の町会離れ等の課題に対し、日々模索している町会です。



町会お楽しみ会



まちぐるみ運動会

玉川地域

掲示板から安心安全なまちづくりを

深沢三友会 会長 黒木 勉

深沢まちづくりセンター地区9町会のひとつ、深沢三友会は昭和25年1月1日に設立され、今年で75年と

なります。町会内には日本体育大学、駒沢大学、都立園芸高校があり、また、春には呑川の桜が満開となり

遊歩道は大勢の花見客で賑わうような環境のいいところ
です。

町会の活動は安心安全を基本として運営の改善充実
を図り、より良い地域社会の実現を目指しています。

一つ目の活動は『安心』です。

近年、特殊詐欺の手口も巧妙になり、令和5年の都
内での年間被害額が81億円となっています。町会でも
回覧板を回し注意喚起をしたり、詐欺についてのポス
ターを作り掲示板や商店にも貼ってもらい、騙されな
いよう防犯対策をとっているところ。現在の特殊
詐欺の主な手口の情報を載せて、防犯対策に役立てた
いと思います。

- ・家族を装ってのオレオレ詐欺
 - ・公共機関・金融機関職員を装っての還付金詐欺
 - ・警察官・量販店などを名乗るキャッシュカード・ク
レジットカード詐欺
 - ・屋根の点検をはじめとする悪質な住宅リフォーム詐欺
- 特に上記4点におきましては、町会員だけでなく、
地域の皆様が被害に合わないよう掲示して注意を呼び
掛けています。



振り込めサギ
防止ポスター

二つ目の活動は『安全』です。

当町会では地域住民の交流と防災訓練に力を入れて
います。指定避難所として深沢中学校と東深沢中学校
の二か所あるため、理事が手分けして避難所運営の訓
練に参加しています。今年度からは町会に加入してい
る方も未加入の方も避難所運営へご理解ご協力いた
だけるように、町会掲示板だけでなく区の掲示板を活
用し、地域の方々へ知らせ伝えていく準備をしており
ます。いざ災害が起きたらどこへ避難してよいのか、知
らなかつたらどうにもなりません。まずはそれぞれの
掲示板に避難場所を掲示して、下記の3つをお伝えし
たいと思います。

- ・一時集合所…危険回避のための一時的な集合場所
- ・広域避難所…一時集合所が危険になったときに避難
する場所
- ・指定避難所…自宅で居住が困難な時、一時的に生活
をするための施設

なお、現在は行政も在宅避難を勧めており、そのため
の各家庭での備蓄などの周知を広めているところです。

今後の取り組みについては、深沢地区町会連合会を
はじめ各専門機関と連携をしながら、地域住民のため
に事業を進めていきたいと思っています。



砧 地 域

住みやすい我が町 鎌田協和会

鎌田協和会 会長 内山 和 之

鎌田協和会は、世田谷区の町会・自治会の中でも比
較的面積が小さく、人口も少なく、世帯数も約300世
帯とコンパクトな町会です。

小さい町ながら鎌田協和会の中には、保育園をはじ
め、砧南小学校 砧南中学校など学校教育の施設が有
り、公共的な施設としては、鎌田図書館、鎌田児童
館、そして鎌田区民センターなどの施設も有ります。
また、多くのケア施設、高齢者施設など有ります。

日常生活の環境としてはスーパーマーケットが2店
舗、近隣のコンビニも3店舗と、子どもからお年寄
りまで暮らす環境としてはとても良いです。

砧地域に属する我が町は緑が多く、砧公園や多摩川
も近く、野川、仙川が流れる静かで環境的にも良い町
です。その上に、交通面でも東京インターも近く、今
人気の二子玉川や成城学園駅との中間ぐらいなので、

ショッピングもしやすく生活も便利です。

そんな町、鎌田協和会の歴史を少し振り返ってみま
すと鎌田村は寛永10年(1633年)彦根藩領(藩主:井
伊直孝)に所属し、世田谷15村の中にあり、明治維新
まで藩体制のもと村体制が続きました。

明治に入っても鎌田村は20戸程の集落で、戸長を中
心とした村でした。

明治4年に廃藩置県令によって彦根藩が長浜県と成
り、翌年明治5年に神奈川県管轄となりました。明治
26年、三多摩が東京府に移管され、東京府北多摩郡と
成り、昭和11年に東京市世田谷区に、昭和18年に東京
都世田谷区に編入され、鎌田村大字から鎌田町とな
りました。隣接する岡本村、宇奈根村、大蔵村、吉沢村
に囲まれていました。

そして昭和23年10月に鎌田協和会として町会が設立

されました。

そのような歴史のある静かな町会ですが、近年ではその環境の良さにひかれてか、新築住宅やマンションがどんどんと建ち、新しい住民が増えてきました。

しかしその反面、町会への関心が薄い方々が多く、町会加入者が少なく、町会としては悩みの種です。

町会では、夏の天神社納涼大会や、秋の鎌田天神社

祭礼をはじめ、町会員旅行や子ども中心のイベントを行って皆さんの関心を引いていますが、なかなか会員は増えません。この現象は世田谷区全体の問題と言うよりも全国的な問題かと思います。

これからも時間を掛けて町会員を増やすべく、明るく楽しい町会になるよう努力し、世田谷区の一町会として会員の増えるよう頑張ります。



夏の天神社納涼大会



秋の鎌田天神社祭礼

烏山地域

烏山地区の活発なイベント活動

パークアベニュー芦花公園自治会 会長 佐藤 健雄

パークアベニュー芦花公園自治会は、芦花公園駅北側、甲州街道沿いにある145世帯のマンションの自治会です。この誌面で自治会のことをご披露というよりも、今回は烏山地区、烏山地区のことについて書きたいと思います。

私どもが属しているのは烏山地区町会・自治会連合会です。22の町会・自治会の団体です。同じ地域に住む人同士が、互いに協力し合って住み良い街にするため、防災・防犯活動、環境美化、ふれあい活動など、各々の地区の特性を生かした、暮らしやまちづくりのためのさまざまな活動を行っています。

京王線千歳烏山駅前にある烏山区民センター前広場ではコロナ禍後、様々なイベントが復活しています。小・中学生がメインアクトをつとめる新年子どもまつりから始まり、様々な運営主体がこの広場で催しを行っています。数えると昨年度は区が後援しているもの、区民センター運営協議会主催のもの、民間主催のものなど、併せてのべ60回にもなります。そのほか、区民センターホールでは、中学生のしっかりした主張を聞くことができる「中学生の集い」も行われています。区民センター前広場以外でも、都立蘆花恒春園では秋に「蘆花まつり」というイベントが行われています。

イベントが多い烏山地域というイメージですが、一方で、烏山地区や地域での防災訓練もしっかりと行っています。その様々なイベントや訓練などに参加して

くれるのが、今から15年前の平成25年に烏山地域のキャラクターに決まった「からびょん」です。キャラクターだけでなく、「からびょんのうた」や「からびょんダンス」もあり、かなり精力的に活動しています。

また、青少年地区委員会主催で地域の4つの小学校から50名程の子どもたちとともに八王子にある「高尾の森わくわくビレッジ」へ向かい、飯盒でご飯を炊きカレーを作ったり、烏山地域の農家さんのご協力で、芋掘りをしたりなどの活動も地域では行っています。

こういった楽しかったり学びになるイベントも多い



蘆花まつりのようす

烏山ですが、一方で、地域内には「ひかりの輪」というオウム真理教の流れを汲む団体がいまだに拠点を置いています。地域としてはその活動を注意深く監視しており、年に2回はデモ行進も行い、地域の住民の皆さんに対して、あの恐ろしい地下鉄サリン事件や拉致監禁事件など、オウム真理教の怖さに対する風化を防ぐための活動を粘り強く続けています。

話は変わりますが、この地域を貫く京王線では現在、連続立体交差事業の工事が本格的に進んでいます。完成まではまだ時間がかかりそうですが、駅には完成時の駅のデザインなども張り出されてきています。少しずつ高架も姿を現しはじめています。2030年度末まで事業が続くということではありますが狭い道が多く、開かずの踏切状態が1日も早く解消されることを願っています。



烏山地域の人気者「からびょん」

町総連ニュース

表彰

▼令和6年10月1日

東京都功労者表彰【地域活動功労】

- ・法人格砧町自治会
- ・田嶋 宏 会計 (野沢四丁目自治会会長)
- ・下山 芳男 (上馬西町会会長)
- ・藤原 成義 元理事 (元 北沢4丁目町会会長)
- ・吉村 俊雄 常任理事 (協和会会長)

▼令和6年11月26日

社会福祉事業功労者に対する厚生労働大臣表彰

- ・新井 貞次 常任理事 (上北沢町会会長)

講演会のお知らせ

令和7年3月26日(水)午後3時より烏山区民会館ホールにおいて、水津陽子さんをお招きし、講演会を行います。テーマは「(仮題)加入率の低下、担い手不足を解消! 自治会・町内会の活性化」。お申込み等につきましては、改めて町総連からお知らせいたします。

お詫びと訂正

令和6年6月28日発行町総連だより第59号で寄稿いただいた、尾山台自治会の田中副会長のお名前が誤っておりました。お詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

(誤) 田中 伸一 ⇒ (正) 田中 紳一



三羽会長ご逝去のお知らせ

桜新町親和会の会長として長きに渡りご活躍され、また世田谷区町会総連合会の会長として奔走いただいていた三羽和彦様が、令和6年10月22日にご逝去されました。

ここに生前のご厚誼を深く感謝し、ご冥福をお祈りするとともに謹んでお知らせいたします。

編集後記

昨年の夏は厳しい暑さが続きましたが、コロナ禍も明け各種のお祭りや行事に賑いを取り戻すことができたことは大変喜ばしいことでした。地域情報面で5地域全部を掲載することでより情報共有しやすくなったのではないかと思います。

それぞれの地域特有の問題、各地域に共通する問題など様々なテーマが話し合われる編集会議を通じて、それぞれの地域について理解を深められるのはこの上なく有り難いことだと感謝しております。編集委員の皆さんにここであらためて御礼申し上げます。

この町総連だよりが皆様の町会や自治会の活動に少しでも役に立つことを願って、編集委員一同頑張っております。今後ともご支援のほどよろしく申し上げます。

編集委員 小川 智弘